

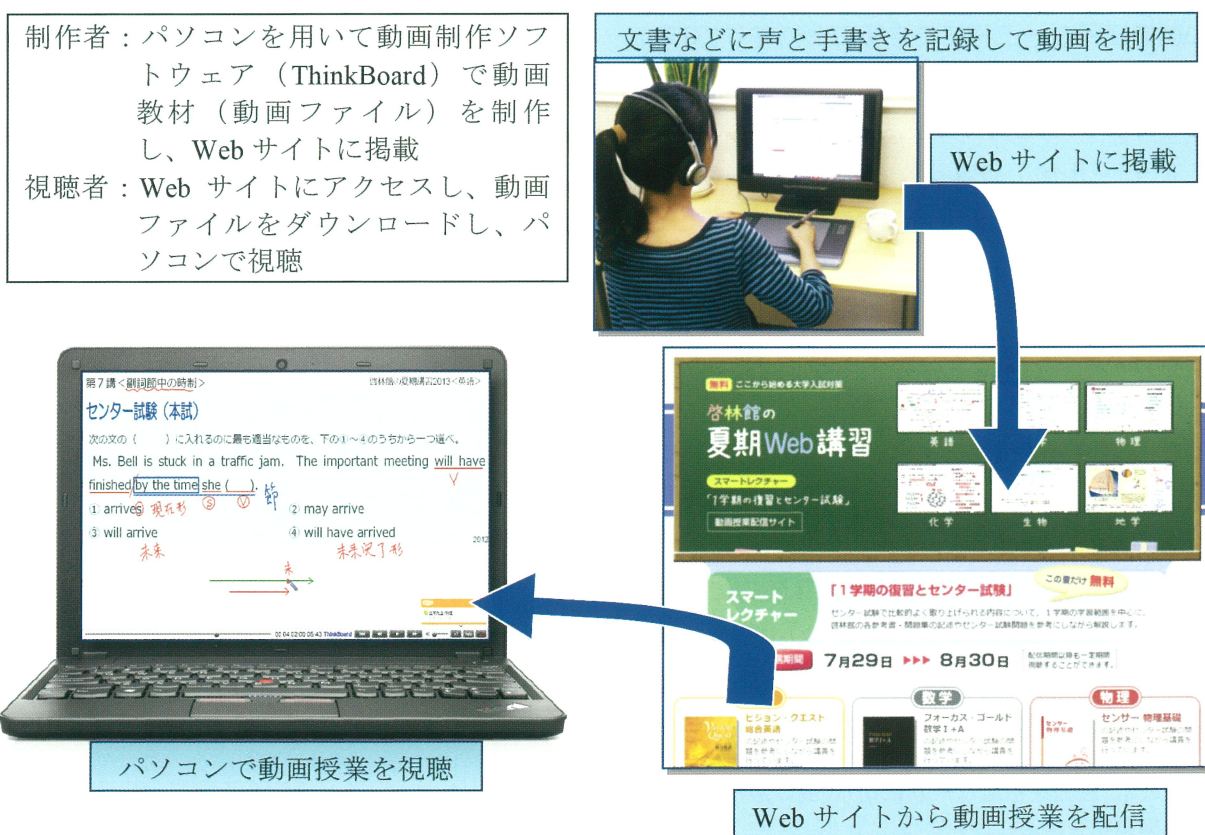
PDFファイルに 声と手書きを付加できるソフトウェアの開発

事業取組の経緯

当社は、ソフトウェア研究開発事業としての独自の技術による動画コンテンツ制作システムの開発、システム研究開発事業としての学習管理システム(LMS)の開発、さらには動画コンテンツ制作事業としてのユーザーの組織形態に合わせた動画コンテンツ制作を主な業務としている。

この事業の中で、主力商品である動画制作ソフトウェア「ThinkBoard」は、現在、教育機関を中心に普及が進んでおり(学校など約600校:平成26年2月時点)、また、同ソフトウェアで制作された動画教材(動画ファイル)は、出版社や塾などのWebサイトから配信され、教育用コンテンツとしての活用が始まっている。

＜現在稼働中の啓林館サイトでの動画配信＞（ThinkBoard を活用）



事業内容

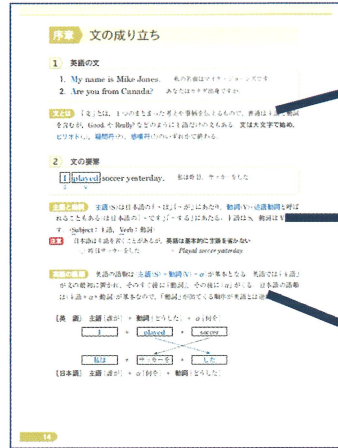
本事業では、PDFソフトウェアの付加価値を高め、新規顧客獲得を図ることを目的に、PDFファイルの指定範囲に音声と手書きの描画の記録・再生が行える機能を備えたソフトウェア<SkyPDF for Talking>の開発に取り組んだ。

具体的には、PDFファイルの指定された範囲に声と手書きの描画が記録・再生できるよう設計図の作成とプログラミングを行い、特に、その中では、学習書の電子データやシステムの電子手引書などで多用されているPDFを制作するソフトウェア(SkyPDF)にThinkBoardをアドインし、教育機関向けには「学習書電子データ(PDF)＋動画」、自治体や企業向けには「手引書電子データ(PDF)＋動画」などの一体化したファイルを生産できるソフトウェアの開発に取り組んだ。

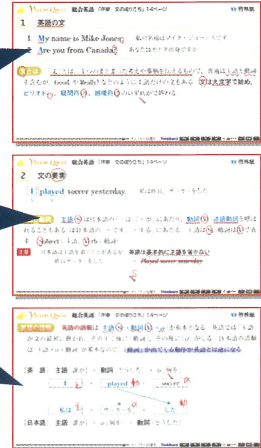
<現在の提供方法>

学習書の電子データ (PDF)

動画授業 (画面のみ)



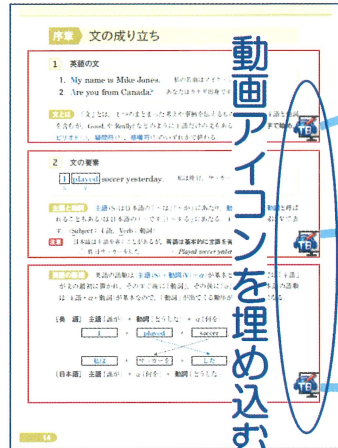
データ上のひも付けがない



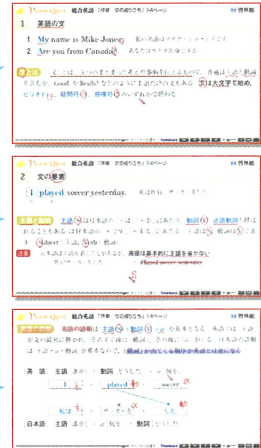
<課題解決後の提供方法>

学習書の電子データ (PDF)

動画授業 (PDF上で展開)



データ上のひも付けが完成!



事業の成果

この結果、当初計画したPDFファイルで細かい説明を、その場で動画として視聴できる付加価値の高いソフトウェアの開発を行うことができた。

加えて、電子データ(PDF)への動画の付加が容易になり、利用者も紙面データと動画との関連が一目瞭然で分かるシステムが完成した。

今後の展望

今後の事業展開としては、PDFソフトの一つであるSkyPDFが導入されている自治体や、これまでにThinkBoardが導入されてきた教育機関、PDFでカタログやマニュアル、資料を提供している企業に対して、株式会社スカイコムと当社が連携して販路開拓を行うことにしている。

また、具体的な販売戦略としては、新たな顧客獲得方策として、PDFを販売ツールとして商品紹介をしている保険会社や銀行などに対しての営業活動を強化し、売上げの増大を図ることにしている。